

熊本県熊本地方の震度7地震（余震継続）に伴う対応状況

平成28年4月25日 15時00分現在
岩手県総務部総合防災室 防災危機管理担当
電話 019(629)5155、5156

平成28年4月14日21時26分頃に熊本県熊本地方に震度7の地震が発生した後も、震度6強等の余震が継続していることから、4月16日4時30分に「平成28年熊本地震に係る岩手県情報連絡室」を設置、同日19時00分に岩手県応援本部に移行し、情報収集等を行っていますが、25日15時00分現在の対応状況についてお知らせします。

1 地震の発生状況（主なもの）

4月14日21時26分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生
4月16日01時25分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生
01時44分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
01時46分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度6弱の地震が発生
03時03分頃	熊本県阿蘇地方を震源とする最大震度5強の地震が発生
03時55分頃	熊本県阿蘇地方を震源とする最大震度6強の地震が発生
07時11分頃	大分県中部地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
07時27分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
09時51分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度6弱の地震が発生
16時02分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生
4月18日20時42分頃	熊本県阿蘇地方を震源とする最大震度5強の地震が発生
4月19日17時52分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5強の地震が発生
20時47分頃	熊本県熊本地方を震源とする最大震度5弱の地震が発生

2 被害状況（4月25日 14時00分現在 消防庁調べ）

(1) 人的被害

死者 60名、重傷者283名、軽傷者1,104名

(2) 物的被害

【住家】

全壊1,696棟、半壊1,614棟、一部損壊2,690棟、程度不明 約5,000棟

【非住家】

公共建物71棟、その他266棟

(3) 火災

16件

3 全国知事会の対応

- (1) 全国知事会災害対策都道府県連絡本部は、知事会現地連絡本部を熊本県庁に設置した。（派遣員数4名）

- (2) 全国知事会は、大分県等と連携しながら、引き続き情報共有に努めるとともに、各都道府県に対し、知事会の対応状況等を連絡することとしている。
- (3) 全国知事会は、被災市町村と支援県によるカウンターパート方式による支援を決定。
- (4) 熊本県への救護班の派遣について、36班の派遣を決定。
- (5) 4月24日現在、熊本県に向け岩手県など27道府県の救護班が出発。
- (6) 4月24日現在、南阿蘇村への人的支援として110名を派遣決定。
(中国地方知事会15名、中部圏知事会30名、東京都33名、新潟県2名、兵庫県10名、徳島県10名、茨城県10名)
- (7) 4月25日、全国知事会から救護班に対する派遣期間の延長要請あり。

4 本県の対応状況

- 4月16日 04時30分 岩手県情報連絡室を設置
- 16時03分 厚生労働省から県に対してDMATの派遣要請あり。
本県からは、医大および胆沢病院から各1隊派遣。
- 19時00分 岩手県応援本部設置
- 21時09分 熊本県菊池市（遠野市の姉妹都市）から物資支援要請（※）が遠野市にあり、運搬手段をトラック協会に調整（トラック2台を確保済）
※物資 遠野市準備：水20×1,000本 ブルーシート500枚
岩手県準備：水20×4,000本
- 4月17日 02時35分 本県からのDMATが、大分県竹田市医師会病院へ到着（9時頃から活動内容の調整）
- 08時10分 菊池市からの物資支援要請にもとづき、県備蓄倉庫（北上市）で物資（水）を積載してトラック1台が菊池市に向けて出発。
- 09時15分 菊池市からの物資支援要請にもとづき、遠野市で物資（水等）を積載してトラック1台が菊池市に向けて出発。
- 4月18日 23時00分 遠野市から出発したトラックは、菊池市体育館に支援物資を降ろした。
- 4月19日 09時00分 北上市から出発したトラックは、菊池市体育館に支援物資を降ろした。
- 15時00分 災害廃棄物関係の事務処理等を支援するため、熊本県からの要請を受け、環境担当技監、防災消防課長ほか1名を4月20日から24日まで熊本県に派遣することを決定。
- 18時00分 熊本県教育庁から宮古水産高校を通じて支援物資の要請があったことから、県教委は支援物資を提供。（19日18時宮古水産高校のりあす丸が救援物資を積載し、宮古港を出港。21日、東京ビッグサイト側多目的埠頭で、熊本県立茶洋高校の熊本丸に積み込み予定。）
- 4月20日 10時00分 災害廃棄物関係の事務処理等の支援要員として環境担当技監、防災消防課長等3名が熊本県庁へ向け出発。
- 16時00分 県職員への救援募金の呼びかけを決定。（実施期間：4月22日（金）～5月20日（金））
- 17時45分 本県の災害廃棄物等の処理支援要員3名が福岡市に到着し、

		本県及び熊本県の福岡事務所で調整。
4月21日	11時15分	全国知事会からの要請に基づき(36班うちの1コ班)、医療救護チーム第1班として4月21日から27日まで、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員1名の計5名を県立中央病院から、熊本県内の避難所、救護所等へ派遣。
	11時20分	県の災害廃棄物等の処理支援要員3名が、熊本県庁に到着し業務を開始。
	14時00分	阿蘇市へ10tトラック2台分の物資を輸送開始。 到着予定 4月23日(土)夕方
4月22日	7時30分	県立中央病院から派遣の医療救護班は、熊本市内に到着し、避難所等において情報収集中。
	9時50分	建築物応急危険度判定士(建築住宅営繕課長以下12名)が出発。(活動期間4月23日(土)~4月25日(月)及び4月26日(火)~4月28日(木))
	18時00分	ICAT(いわて感染制御支援チーム)が出発。
4月23日	11時40分	10tトラック2台分の物資が阿蘇市へ到着(積み下ろし完了)医療救護本部支援要員を1名追加派遣(4月23日(土)~4月29日(金))
	午後	ICAT(いわて感染制御支援チーム)が熊本県に入り、活動開始。
4月24日	8時50分	応急仮設住宅整備業務の支援のため、本県職員2名が熊本県へ向け出発。(活動期間4月25日(月)から2週間程度)
	14時15分	災害廃棄物関係の事務処理等支援要員として支援していた環境担当技監、防災消防課長ほか1名が帰庁。
4月25日	<u>9時00分</u>	<u>熊本県教育庁からの支援物資要請により、宮古水産高校のりあす丸から、熊本県立苓洋高校の熊本丸に積み替えした支援物資は、熊本県三角漁港に着岸し、積み荷を降ろして避難所への仕分けを実施。</u>
	<u>14時30分</u>	<u>ICAT(いわて感染制御支援チーム)が帰庁。</u>
(4月26日)	<u>8時00分</u>	<u>全国知事会からの要請に基づき、県立中部病院から医師2名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員1名の計6名が出発予定。(派遣活動期間4月27日(火)~5月1日(日))</u>

5 本県ICAT(いわて感染制御チーム)の活動状況

4月18日、日本環境感染学会から本県のICATに対して、避難所の衛生管理状況を把握するため派遣要請があり、4月22日から25日までの間、医療関係者3名を派遣。

4月25日帰庁。

6 日本赤十字社岩手県支部の活動状況

(1) 4月20日、熊本県益城町保健センター臨時救護所において救護活動を開始。

4月23日まで活動を行い、4月24日17時帰還。

(2) 4月25日、日本赤十字社から医師の派遣要請があり、1名を熊本赤十字病院へ派遣。

(派遣期間4月25日(月)~4月30日(土)、帰還予定5月1日(日))

7 DMAT(災害派遣医療チーム)の活動状況

岩手医大チーム(4月17日～4月18日)と胆沢病院チーム(4月17日～4月19日)は活動を終了し、本県へ帰還。

8 医療救護本部支援の活動状況

4月21日～24日までの間、岩手医科大附属病院から2名を熊本県災害対策本部へ派遣。
更に4月23日(土)～4月29日(金)の間、岩手医科大学附属病院から1名を熊本県災害対策本部へ追加派遣。

9 医療救護チームの活動状況

- (1) 4月21日～27日までの間、県立中央病院から5名を熊本県内の避難所等へ派遣。
- (2) 4月26日～5月2日までの間、県立中部病院から6名を同様に派遣。